

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和4年10月3日

①学校名:	早稲田大学	②所在地:	東京都新宿区戸塚町1-104		
③課程名:	データサイエンス実践講座	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	令和4年10月1日
⑥責任者:	小林学 (データ科学センター教授)	⑦定員:	30名	⑧期間:	5ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	本講座は、データサイエンスの「理論」とビジネス領域で活用できる「スキル」を同時に学ぶことにより、データサイエンスの実践的な活用能力を鍛え、受講者自身の専門領域でデータサイエンスを“活用”するための能力を身に着けるための講座である。 本講座受講者は、データサイエンティストとして必要な基礎的な理論と技術を習得することを目標とする。				
⑩10テーマへの該当	ビジネス等	⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者		
⑫対象とする職業の種類:	経営企画担当者、販売促進担当者、マーケティング担当者等				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) データサイエンスに関する基礎的知識 Pythonによるプログラミング基礎技術 実データを使った分析スキル 等		(得られる能力) データサイエンスを実際にビジネスに活用する力		
⑭教育課程:	「理論編(オンデマンド・48時間)」と「実践編(オンライン・60時間)」の2つのカテゴリに分かれており、2つを同時並行で授業を行う。理論編では、「データサイエンスの考え方の基礎」「回帰と分類の考え方」「分析に適切なモデルの探索」「データ解析の実践」という流れで、意思決定の目的という観点からデータサイエンスを統一的な視点で体系的に理論を学ぶ。「実践編」では、具体的なケースとデータを使ってデータサイエンスを実践する。Pythonでの演習を通してデータ分析を理解し、実際の課題に取り組むことによって受講者のスキルを磨く。実データを使った分析の実践、並びにビジネスへの活用領域や活用事例を学び、データサイエンスとビジネスの知識を結びつける能力を養う。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	108時間の履修、毎回の課題取組み状況等				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書				
⑰総授業時数:	108時間	⑱要件該当授業時数:	60時間	該当 要件 双方向 実務家	⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 56%
⑳成績評価の方法:	毎回の出席状況、課題取組状況などを考慮し、総合的に判断する				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施し、結果を公表する。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対しアンケートを実施し、効果を検証する。				

⑳企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 本講座は、データサイエンス教育に係るコンソーシアム(大学と複数の企業等で構成)の協力により開発を行っている。よって、カリキュラム自体が企業等の意見を取り入れたものとなっている。 (自己点検・評価) 上記のコンソーシアムの加盟企業より意見を徴収し、自己点検・評価に取り入れる。
㉑社会人が受講しやすい工夫:	【開講時間】 土曜日の開講 【開講場所】 オンデマンド形式・オンライン形式にて実施 【受講形態】 1日内で長時間集中形式で授業を行うことで日数を押さえた形態
㉒ホームページ:	https://wasedaneo.jp/service/certificate-programs/datascience

事務担当者名:	長沼・長谷川	所属部署:	教務部社会人教育事業室
連絡先:	(電話番号)	03-6262-7534	
	(E-mail)	seoo@list.waseda.jp	

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。